

期間 2019年 11月14日(木)～12月14日(土) [全5回]

実施場所 北九州市立八幡西生涯学習総合センター
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ内 (40ページ アクセス参照)
(第5回は 響灘ビオトープ: 若松区響町一丁目126-1※原則現地集合・解散)

申込・問合せ先 北九州市立八幡西生涯学習総合センター
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ内
TEL: 641-9360 FAX: 641-9332

時間 18:00～20:00 (第5回のみ 14:00～16:00)

応募締切

10月31日(木)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



定員 20名

受講料 1,000円

受講生への
メッセージ

コーディネーター: 響灘ビオトープ 園長 安枝 裕司

北九州市は工業都市でありながらも自然環境も豊かな都市で、里山～川～里地～干潟～海など多様な生態系も有しています。生息する生き物は、地域ごとに特色があり、希少になったものも少なくありません。

地区ごとの特色ある生き物にスポットをあて、それらを保全することで、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、自然環境の現状を正しく理解し、それらを市民が主体となって保全する方法を考える講座です。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	11/14 (木)	門司 『アサギマダラ』 “旅する蝶”と言われ、日本で唯一、数百キロの長距離移動をする蝶を守る取り組みについて	白野江植物公園 園長 阿南 裕之
2	11/21 (木)	戸畑 『戸畑あやめ』 かつて戸畑の原野にのみ自生し自滅したと考えられていた伝説の花を、地域の方々を中心に守り育てる取り組みについて	戸畑あやめを育てる会 会員 高崎 聡
3	11/28 (木)	小倉南 『ガシャモク』 西日本では北九州が唯一の自生地となった希少な水生植物を守る取り組みについて	市丸小学校 主幹教諭 山元 佳典
4	12/5 (木)	八幡他 『ニッポンバラタナゴ』 かつてはため池・湖・沼などに多く生息していたが、現在は絶滅の危機にある淡水魚を守る取り組みについて	水環境館 福田 海輝
5	12/14 (土)	若松 『カヤネズミ』 生息場所となる草が減少し、絶滅の危機に直面する、日本で一番小さいネズミを守る取り組みについて ※現地集合、解散	響灘ビオトープ 次長 三上 剛

スポット受講

詳細は2ページ

料金

500円/回

何回でも可